

平成20年7月25日
南海都市創造株式会社

関西の商業施設では初！

募金のできる自動販売機「ハートフルベンダー」を
なんばCITYとなんばパークスに設置しました。

南海グループの南海都市創造（社長：亀井康年）では、本日7月25日（金）なんばCITYおよびなんばパークスの自動販売機コーナー（計3カ所）に、募金のできる飲料自動販売機「ハートフルベンダー」（計3台）を設置しました。

同自販機は、特定非営利活動法人「ハートフル福祉募金」が各地への設置を推進しているもので、東北福祉大学に第一号が設置されて以降、全国に広がりを見せています。関西では福祉施設や学校などを中心に設置が進められていますが、**商業施設では初めての設置**となります。飲料を購入するのと同様にお金を入れ、ボタンを押すだけで「赤い羽根共同募金」に寄付ができる仕組みです。

詳細は別紙のとおりです。



ハートフルベンダー



募金ボタン

< 別紙 >

1. 設置目的

企業として社会福祉に貢献すること。また、商業施設をご利用のお客さまに社会貢献を身近なものとして感じていただき、募金をする機会や場所を提供することを目的としています。

2. 設置日

平成20年7月25日(金)

3. 設置場所及び設置台数

なんばCITY本館1階(警備センター前)自販機コーナー 1台

なんばパークス7階「酉の舞」前自販機コーナー 1台

なんばパークス8階 円形劇場前自販機コーナー 1台 (合計3カ所3台)

4. 自動販売機の仕組み

「ハートフルベンダー」では、寄付のみの利用だけでなく、通常の自動販売機としての飲料の購入や、飲料購入の際のお釣りを寄付することも可能です。硬貨を投入し、「募金ボタン(10円、100円)」を募金したい金額分押すことで「赤い羽根共同募金」への寄付ができます。例えば120円を募金したい場合、「100円」のボタンを1回、「10円」のボタンを2回押すことになります。

募金額は一定期間分を取りまとめて共同募金会に寄付されます。また、自動販売機には募金の趣旨が明記されており、各自販機ごとの募金額総額も表示されます。

< 参考 > 「赤い羽根共同募金」について

都道府県ごとに組織された社会福祉法人共同募金会が運営しています。集まったお金は、主に、市町村社会福祉協議会が実施する在宅福祉サービス事業や、ボランティア育成事業、児童の事故防止、青少年の健全育成などに生かされています。

以上